

私が過ごしたミッションでの6年間

今を遡ること6年前の2003年、高校受験によって寸断されることのない、生徒一人ひとりに合わせた学習プログラムの実現を目指し、「中高一貫教育」を導入した北陸学院。このインタビューシリーズでは、夢への確かな一歩を踏み出した第一期目の卒業生たちに、「勉強プラスもうひとつ」を教育方針とする北陸学院で過ごした6年間の振り返ってもらいます。



「ミッションで過ごす充実した日々の中で、自分の目指すものが少しずつ見えてきた」

釜土愛美さん

かまど まなみ

北陸学院大学

人間総合学部幼児児童教育学科



北陸学院大学の講義室にて

一人ひとりが

大切にされている

ミッションを選んだ理由を教えてください。

幼稚園・小学校とミッションに通い、児童一人ひとりが大切にされていることを、子どもながらに実感していたからでしょうか。私の場合、中学進学の際にもミッションを選ぶことに迷いはありませんでした。中学時代は、少人数制だったことや、生徒それぞれの個性を尊重する校風もあって、ほかの小学校からきた生徒とも入学後すぐに打ち解けることができたのを覚えていますし、先生と生徒の距離もとても近かった印象があります。

行事が盛んなこともミッションの伝統で、演劇コンクールや運動会などの行事には、クラスが一致団結してそれはもう、ものすごく燃えます(笑)。周囲のヒートアップに、「私も負けてはいられない」といつの間にか積極的に行事に取り組んでいました。今振り返ると、こういった行事も単に楽しい思い出を残してくれただけではなく、個性もそれぞれのクラス全員が、協調しながら何かを成し遂げることの大切さを教えてくれた、とてもよい機会だったのだと思います。途中ぶつかり合うこともありましたが、クラスメイトの間には確かな信頼関係が生まれ、ともに泣き、笑った行事を通じて、一生の友と呼べる友人もできました。

憧れのクラブで学んだ

チームワークの大切さ

あなたにとっての「勉強プラスもうひとつ」は？

中学・高校の6年間、ハンドベルのクラブに入っていました。小学校の頃、クリスマス行事などで演奏する中学・高校のお姉さんたちを見ては、紙コップをつくったハンドベルで真似事をするほど憧れていたもので、本物を

手にしたときには、その重みと美しい音色にとても感動したのを覚えています。全員が協力してはじめて美しいメロディーを生み出すことができるハンドベルを通じて、チームワークの大切さを学ぶことができました。

また、高校2年では宗教委員会の委員長として生徒会にも参加し、ほかのメンバーとともに、行事の企画や運営に参加できたのも、かけがえのない思い出です。



高校時代の市民クリスマスでの演奏

子どもたちに

英語の楽しさを伝えたい

大学進学に関しては？

幼稚園の担任の先生に憧

れを抱いたのをきっかけに、小学校へ入るころにはもう「夢は幼稚園の先生」でした。その思いは高校に入ってから変わることがなく、幼稚園教諭免許を取得できる大学への進学を目指しました。一時は、県外への進学も考えましたが、「自分はどうな保育者になりたいのか」ということを真剣に考えたとき、「私が子どもたちに伝えたいことは、すべてミッションで学んだことだ」と気付き、北陸学院大学の受験を決めました。

高校3年の夏休み前には推薦入試に向けての本格的な準備を始め、志望動機やこれまでに中学・高校でやってきたことを何度も書いては読み返す日々が続きました。その時に繰り返し志望理由を考え、文章にしたことで、自分がやりたいこと、目指すものの輪郭が少しずつ見えてきたように思います。現在は、プレ実習で保育

の現場を体験し、保育者という職業の楽しさ、厳しさを肌で感じる毎日です。その一方で、私には、高校2年で体験したイギリスへの短期留学の際、自分を積極的に変えてくれた英語教育に対しての特別な思い入れがあり、在学中に「子ども英語インストラクター」の資格を取得することで、将来は英語の楽しさを子どもたちに伝えていきたいと考えています。

はじめて家族から離れ、集団の中で他人とのかわりを学ぶ大切な場にいる子どもたちに、ミッションで教わった「他者と自分の違いを認め、まわりに感謝する心」を伝えられる保育者になりたいと思っています。

※子ども英語インストラクター…北陸学院大学独自の資格。英語コミュニケーション、発達心理学、異文化間コミュニケーション、子ども英語、英語音声学、実習など、学校が定める16の単位を修得することで認定される。

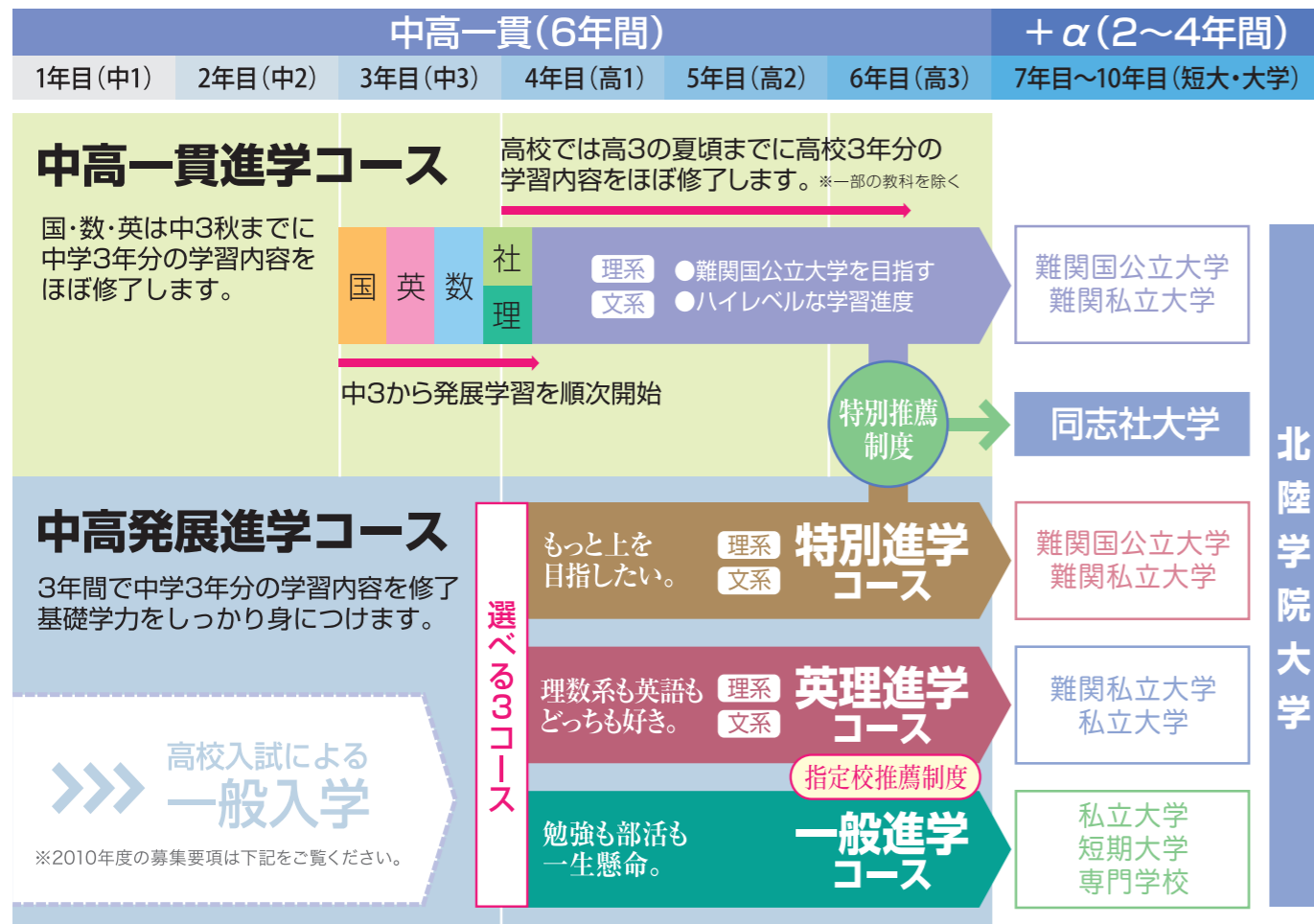


北陸学院は2010年に創立125周年を迎えます。

— ミッションの10年Story —

個性に合わせて広がる未来

大学を含めた10年間をひとつの教育期間と考え、広い視野をもった人間味あふれる社会人を世に輩出しています。



北陸学院大学

北陸学院の「中高一貫教育」

「ミッションの中高一貫教育」という選択

今春、北陸学院初の「中高一貫カリキュラム修了生」たちが、大学受験においても立派な成績を収めました。

無限の可能性を秘めたお子さんの未来のために...

なぜ今「中高一貫校」なのか

子どもが小学校高学年になると、保護者の間で「中高一貫」「受験」という言葉が聞かれるようになり、中高一貫教育の最大のメリットは、基礎学力の低下という「ゆとり教育の課題」を解消し、6年間で効率的に学習を進められることにあり、「子どもにやさしい教育」として中高一貫校を選ぶ親が全国的に増加しています。

北陸学院中学校・高等学校の特色ある「2つのコース」

北陸学院は、2003年度より県内初の「中高一貫教育」を実践してきました。北陸学院中学には、6年間のカリキュラムで全国の難関国公立大学を目指す「中高一貫進学コース」と中学で基礎学力を身につけ、高校入学時に自分に合ったコースを選択できる「中高発展進学コース」があり、どちらのコースも、早い時期に基礎的な学習能力の土台を固めます。そのため、子どもたちは、部活に、学校行事に、また好きな習



少人数制による丁寧な指導で生徒の能力を引き出す



人格形成に大きな役割を果たす毎朝の礼拝

い事に取り組み、彼らの人生にとって大きな財産となる友人との時間を楽しみながら、無理なく大学入試への準備を整えることができます。また、北陸学院では、キリスト教教育を軸とした心の教育をすべての土台としており、思春期を迎えた多感な子どもたちの、人間的な成長をしっかりとサポートします。

推薦と一般、どちらの入試制度にも強くなる

大学入試において、推薦に強いことも北陸学院の大きな特徴です。同志社大学とは、教育連携協定を結び、2011年度より15名程度の特別推薦枠が設けられる予定です。また、キリスト教学校教育同盟校として、関西学院大学や青山学院大学にも多くの指定校推薦枠を有しています。これらの大学をはじめ、全国95校^{※1}への指定校推薦、公募制推薦、AO入試^{※2}などの制度を利用し、夢を叶えた先輩たちが充実したキャンパスライフを謳歌しています。

さらに、中高一貫カリキュラムの成果が初めて試されることとなった今春の入試においては、合格実績の約40%を一般入試が占める結果となりました。(実績の詳細については左ページをご覧ください)

※1 2009年4月現在
 ※2 アドミッションズ・オフィス入試、出願者の人物像を学校側の求める学生像と照らし合わせて合否を決める入試方法。

2010年度 北陸学院高等学校生徒募集要項

	推薦入試(専願・併願)	一般入試(一次)	一般入試(二次)
募集定員 (第1学年 普通科)	特別進学コース 英理進学コース 一般進学コース	男女合わせて200名	
試験日程	出願期間 2010年1月8日(金)~1月14日(木)	2010年1月20日(水)~1月28日(木)	2010年3月15日(月)~3月24日(水)
	試験日 2010年1月16日(土)	2010年2月2日(火)	2010年3月25日(木)
	入試会場 ①本校	①本校・②小松・③羽咋	①本校
	選考方法 面接(本人) 書類審査(調査書・推薦書)	学力試験(国語・数学・英語・理科・社会) 面接(本人) 書類審査(調査書)	作文試験 面接(本人) 書類審査(調査書)
	合格発表 2010年1月19日(火)	2010年2月8日(月)正午	2010年3月26日(金)

※一般入試(一次)の本校会場のみ、2月1日(月)の午後1時30分から4時まで下見ができます。
 ※インフルエンザで、推薦入試および一般入試(一次)を欠席した者には追試を行います。詳しくは本校までお問い合わせください。

- 試験会場**
- ①本校:北陸学院高等学校【金沢市・白山市・石川郡・かほく市・河北郡・石川県外の志願者】
 - ②小松:小松第一地区コミュニティセンター【小松市白江町ツ108-1 TEL.0761-23-2414】【加賀市・小松市・能美市・能美郡の志願者】
 - ③羽咋:羽咋市商工会館【羽咋市旭町ア139 TEL.0767-22-1393】【羽咋市・羽咋郡・七尾市・鹿島郡・輪島市・鳳珠郡・珠洲市の志願者】